

# 防災行政同報無線屋外子局移設等作業委託（子局番号４５、４７、７７、 ２２４、３２３）仕様書

## 1 概要

防災行政用同報無線屋外子局（子局番号７７、２２４）を既存の場所から移設させるもの。既存の柱については、撤去するものとする。

また、防災行政用同報無線屋外子局（子局番号４５）のスピーカーを更新し、子局番号３２３の機器類並びに子局番号４７の機器類及び柱を撤去するもの。

## 2 作業場所

### （１）子局番号 ４５（相原分署）

相模原市緑区相原４丁目１４番９号(別添 位置図①、別添 写真①参照)

### （２）子局番号 ４７（日鉄ドラム相模原工場）

相模原市緑区西橋本５丁目７番（別添 位置図②、別添 写真②参照)

### （３）子局番号 ７７（第３分団第３部）

①相模原市中央区淵野辺本町４丁目１７番８号(別添 位置図③、別添 写真③参照)

②相模原市中央区淵野辺本町５丁目２６番（別添 位置図③、別添 写真④参照)

### （４）子局番号 ２２４（東林分署）

①相模原市南区東林間７丁目３５番２５号（別添 位置図④、別添 写真⑤参照)

②相模原市南区相南３丁目２０番（別添 位置図⑤、別添 写真⑥参照)

### （５）子局番号 ３２３（二本松こどもセンター）

相模原市緑区二本松２丁目１番１号（別添 位置図⑥、別添 写真⑦参照)

## 3 履行期限

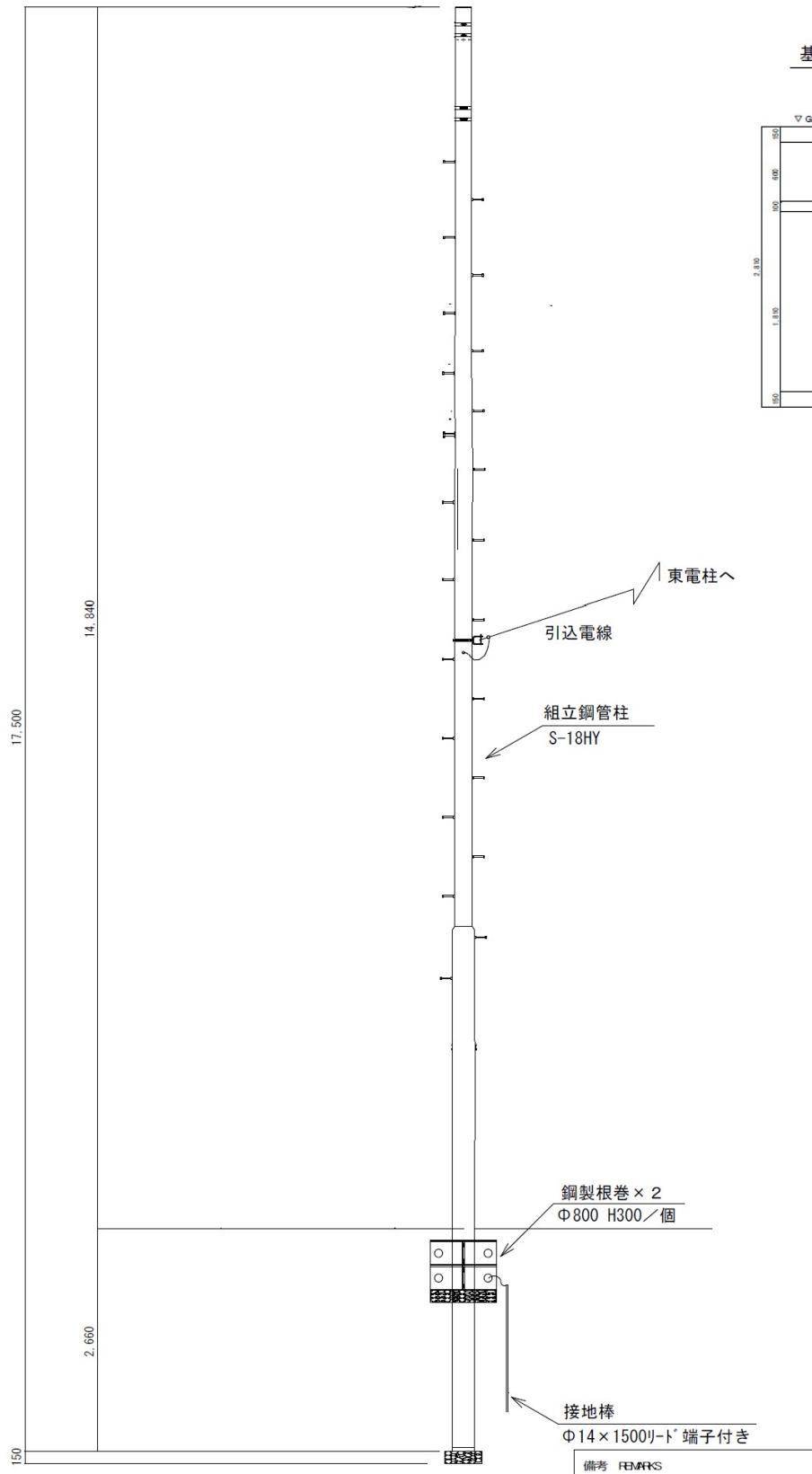
契約日から令和８年３月２４日

## 4 内容

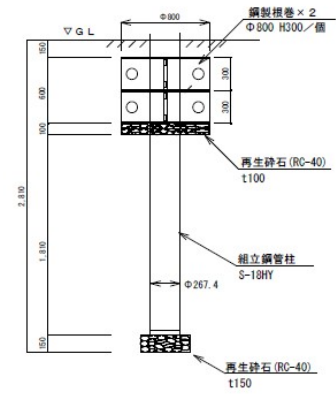
### （１）防災行政同報無線子局柱の建柱

①「２作業場所（３）②」及び「２作業場所（４）②」の場所において、以下の図面通り、建柱を行う。なお、鋼管柱については、ヨシモトポール株式会社のエースマスト S-18HY と同等品を用いるものとし、これ以外を用いる場合は発注者の承諾を得るものとする。また、建柱にあたっては基礎を鋼製根巻とすること。

# 屋外拡声子局姿図



基礎詳細図



- ②アース線については、2.0mの位置で自在バンドに束ねておくこととする。
- ③足場ボルトについても取り付けのものとす。
- ④道路使用許可等、官公庁等への届出が必要とされる場合は、届出申請を行うものとする。
- ⑤作業現場には、公衆が見やすい場所に次の事項を記載した作業看板を表示する。
  - ・作業名称
  - ・作業期間
  - ・受注者及び連絡先
  - ・現場代理人氏名及び連絡先
  - ・作業概要
  - ・発注者及び連絡先
  - ・監理者及び連絡先
- ⑥残土の処理は場外搬出処理とし、適切に処分を行うものとする。
- ⑦掘削後地下埋設物が出てきた場合は、掘削箇所を元の状況に復旧し、再度掘削箇所について、発注者に指示を求めることとする。
- ⑧作業の施工中あたっては、関係法令により、作業現場における標識施設等を設置することとし、クレーン等の重機利用時は、カラーコーンで区画し安全管理を図ること。
- ⑨施工にあたっては、近隣等への作業の周知を行うこと。
- ⑩本市の環境方針を遵守すること。
- ⑪鋼管柱を保管しておく場所は、周辺にはないので建柱当日に持ち込む等、留意すること。

(2) 既存の防災行政同報無線子局柱(子局番号77、224)から新設柱への無線機等の移設および既存柱の撤去

- ①「2作業場所(3)①」から「2作業場所(3)②」及び「2作業場所(4)①」から「2作業場所(4)②」に以下のとおり、既設柱から新設柱に無線機等に移設し(一部撤去、一部購入し設置)、既設柱は、基礎のコンクリートを含めて撤去する。子局の構造については、別添「撤去子局構造図」のとおり。撤去したスピーカー、鋼管柱、基礎コンクリート等については適切に処分するものとする。

○子局番号 7 7（第 3 分団第 3 部）

NO	既設柱			新設柱		
	機器	数量	取扱い	機器	数量	取扱い
1	アンプ 120W	1 式	新設柱に移設	アンプ 120W	1 式	既設柱から流用
2	空中線	1 式	新設柱に移設	空中線	1 式	既設柱から流用
3	外接箱	1 式	新設柱に移設	外接箱	1 式	既設柱から流用
4	無線装置	1 式	新設柱に移設	無線装置	1 式	既設柱から流用
5	同軸ケーブル	1 式	新設柱に移設	同軸ケーブル	1 式	既設柱から流用
6	スピーカー	6 式	撤去処分	スピーカー (※30W)	3 式	受注者が用意したものを設置
7	鋼管柱(基礎含む)	1 式	撤去処分	鋼管柱(基礎含む)	1 式	受注者が用意したものを設置

※TOA 製 中型ホーンアレイ 4 連 30W 2 式、レフレックス 30W 1 式

○子局番号 2 2 4（東林分署）

NO	既設柱			新設柱		
	機器	数量	取扱い	機器	数量	取扱い
1	アンプ 120W	1 式	新設柱に移設	アンプ 120W	1 式	既設柱から流用
2	空中線	1 式	新設柱に移設	空中線	1 式	既設柱から流用
3	外接箱	1 式	新設柱に移設	外接箱	1 式	既設柱から流用
4	無線装置	1 式	新設柱に移設	無線装置	1 式	既設柱から流用
5	同軸ケーブル	1 式	新設柱に移設	同軸ケーブル	1 式	既設柱から流用
6	スピーカー	4 式	撤去処分	スピーカー (※30W)	3 式	受注者が用意したものを設置
7	鋼管柱（基礎含む）	1 式	撤去処分	鋼管柱（基礎含む）	1 式	受注者が用意したものを設置

※TOA 製 中型ホーンアレイ 4 連 30W 3 式

- ② 撤去後の基礎があった部分は、子局番号 7 7（第 3 分団第 3 部）については、土で埋め戻し、地面をならすこと。また、子局番号 2 2 4（東林分署）については、土で埋め戻し、表面はコンクリート舗装すること。
- ③ 既設柱から新設柱への機器の移設は 1 日で完了するよう調整を図ること。
- ④ 東京電力に電気利用に係る申請及び撤去する柱で利用している廃止申請も合わせて実施し、必ず東京電力に手続きの処理が完了していることを確認すること。  
なお、東京電力のお客様番号については、必ず引継ぐこととする。
- ⑤道路使用許可等、官公庁等への届出が必要とされる場合は、届出申請を行うものとする。
- ⑥移設後の動作確認については、保守業者である株式会社富士通ゼネラルと調整す

ること。

⑦受注者は工事着工前に関連する施設、住民等に工事のお知らせを配布すること。

(3) 既存の防災行政同報無線子局柱（子局番号47）の撤去

①「2作業場所（2）」の無線機等及び既設柱を基礎のコンクリート含めて撤去すること。子局の構造については、別添「撤去子局構造図」のとおり。撤去したスピーカー、鋼管柱、基礎コンクリート等については適切に処分するものとする。

②撤去後の基礎があった部分は、土で埋め戻し、地面をならすこと。

③東京電力に撤去する柱で利用している廃止申請を実施し、必ず東京電力に手続きの処理が完了していることを確認すること。

④道路使用許可等、官公庁等への届出が必要とされる場合は、届出申請を行うものとする。

⑤受注者は工事着工前に関連する施設、住民等に工事のお知らせを配布すること。

(4) 防災行政同報無線スピーカー（子局番号45）の高性能スピーカーへの付替え

①「2作業場所（1）」の場所において、以下とおりスピーカーの付替えを行う。

○子局番号45（相原分署）

物品	数量	備考
TOA 製 中型ホーンアレイ 3 連 30W	2 式	既存のスピーカーを撤去し、設置する。設置に必要なとなる金具等の部材も含め、受注者が用意すること。
TOA 製 中型ホーンアレイ 3 連 60W	1 式	

② 道路使用許可等、官公庁等への届出が必要とされる場合は、届出申請を行うものとする。

③ スピーカーの向きについては、発注者の指示に基づき決定するものとする。

④ 設置作業後は、正常に動作するように調整作業を実施するものとする。

⑤ 撤去したスピーカー等の不要品は、受注者が適切に処分するものとする。

(5) 既存の防災行政同報無線子局柱（子局番号323）からの無線機等の撤去

①「2作業場所（5）」の場所において、以下のとおり機器類の取り外しを行う。

NO	機器	数量	取扱い
1	アンプ 120W（筐体含む）	1 式	撤去後、上溝倉庫（中央区横山5丁目21）へ
2	空中線	1 式	撤去処分
3	外接箱	1 式	撤去後、上溝倉庫へ

4	無線装置	1 式	撤去後、上溝倉庫へ
5	同軸ケーブル	1 式	撤去処分
6	スピーカー	4 式	撤去処分

②撤去時期については、発注者と調整を行うこと。

③東京電力に廃止申請も合わせて実施し、必ず東京電力に手続きの処理が完了していることを確認すること。

## 5 納品物

以下を PDF データ及び紙 1 部で提出するものとする。

- ・ 竣工図
- ・ 官公庁関係届出書類（コピー）
- ・ 写真（作業前・作業後が分かるもの）
- ・ 作業報告書

## 6 留意事項

- （１）業務実施に係る消耗品、備品等は、受注者で用意すること。
- （２）建物及び設備等に損傷を与えた場合は、直ちに発注者に報告するとともに、受注者の責任において、速やかに原状回復を図ることとする。
- （３）本業務に他の機器の異常を認めた場合は、直ちに発注者に報告し、その指示により速やかに復旧させること。
- （４）業務中は通行車両等の安全に配慮すること。
- （５）内容に疑義が生じた場合は、速やかに発注者と協議を行うこと。

以 上